

## ブラックロックESG世界株式ファンド (限定為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

### ブラックロックESG世界株式ファンド (限定為替ヘッジあり)

第8期末(2023年9月20日)	
基準価額	18,096円
純資産総額	1,161百万円
騰落率	11.3%
分配金	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### ブラックロックESG世界株式ファンド (為替ヘッジなし)

第8期末(2023年9月20日)	
基準価額	25,794円
純資産総額	9,346百万円
騰落率	21.0%
分配金	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記弊社ホームページの「ファンド・ETF情報」、「投資信託」から当ファンドのファンド名を選択することにより、当ファンドの「運用報告書(全体版)」を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 「運用報告書(全体版)」は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

追加型投信 / 海外 / 株式

## 交付運用報告書

第8期(2023年9月20日決算)

作成対象期間(2022年9月21日~2023年9月20日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ブラックロックESG世界株式ファンド(限定為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、このたび、第8期の決算を行いました。

当ファンドは、主として、各企業のESGに着目しながら、先進国の企業または先進国に主要な業務基盤がある企業の株式ならびに株式関連商品(デリバティブ含む)等に投資する投資信託証券に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過についてご報告いたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### ブラックロック・ジャパン株式会社

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

運用報告書に関するお問合わせ先

電話番号: 03-6703-4300

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

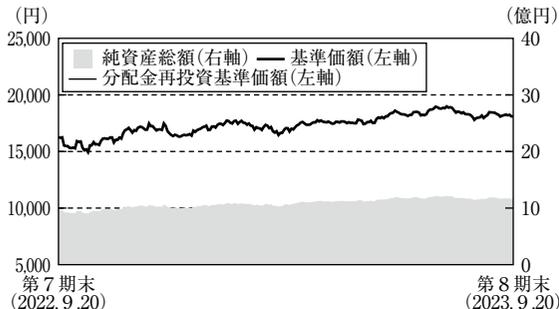
ホームページアドレス

[www.blackrock.com/jp/](http://www.blackrock.com/jp/)

## <ブラックロック ESG 世界株式ファンド(限定為替ヘッジあり)>

### ◇運用経過

■当期中の基準価額等の推移について(第8期:2022年9月21日～2023年9月20日)



第8期首:16,258円

第8期末:18,096円(既払分配金0円)

騰落率:11.3%(分配金再投資ベース)

### ■基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の期中騰落率は+11.3%となりました。

当期、「BSF ブラックロック・システムチック ESG ワールド・エクイティ・ファンド(円建て円ヘッジ)」が上昇したことが、当ファンドの上昇要因となりました。

### ■主要投資対象ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
BSF ブラックロック・システムチック ESG ワールド・エクイティ・ファンド(円建て円ヘッジ)	12.0%

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

\*分配金再投資基準価額は、前期末の基準価額に合わせて指数化しています。

### ■1万口当りの費用明細

項目	第8期 (2022.9.21～2023.9.20)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	63 円	0.361 %	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は17,349円です。
( 投信会社)	( 2)	(0.011)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
( 販売会社)	(57)	(0.330)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受託銀行)	( 3)	(0.020)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (印刷費用・監査費用等)	20 (19)	0.112 (0.110)	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
(その他)	( 0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	82	0.473	

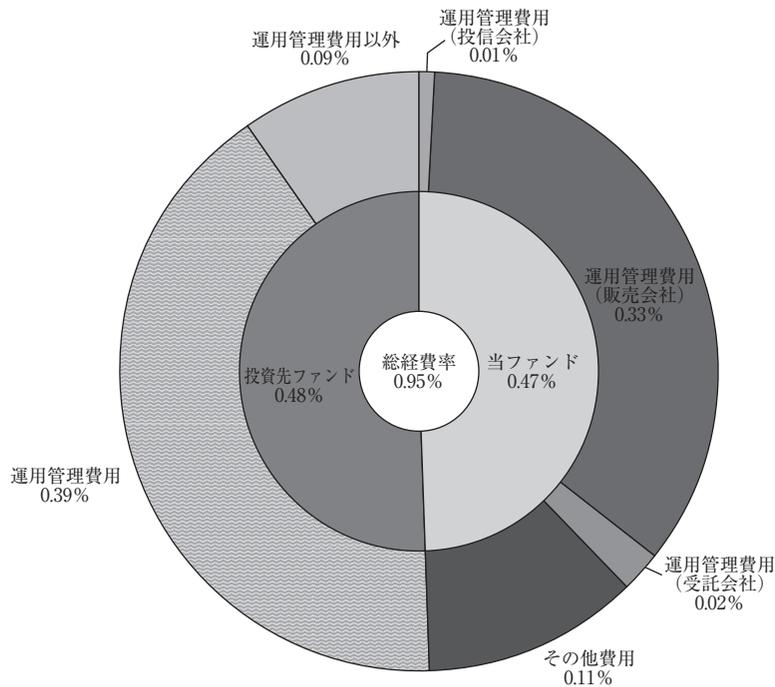
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.95%です。

総経費率(①+②+③)	0.95%
①当ファンドの費用の比率	0.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

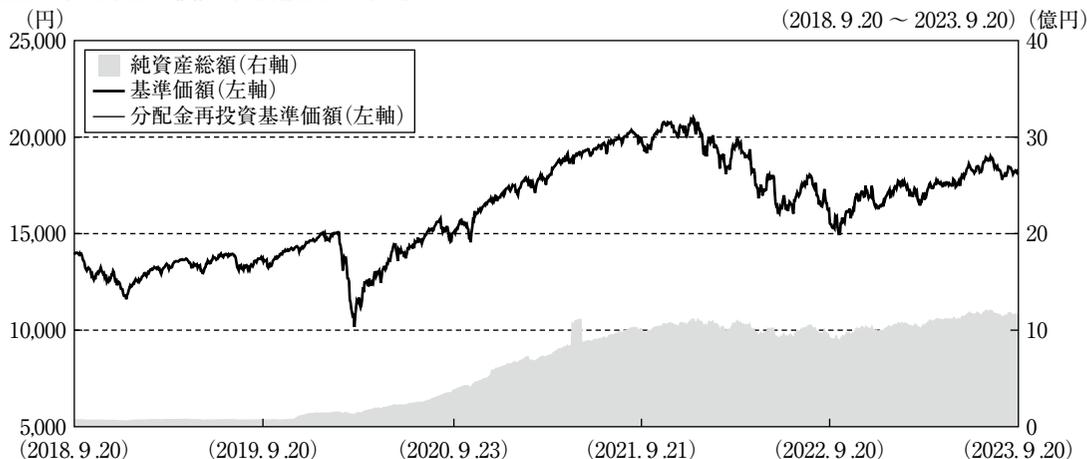
(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、2018年9月20日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

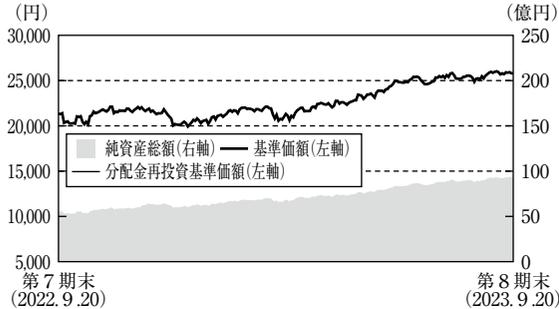
	2018年9月20日 期初	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日
基準価額(分配落) (円)	13,914	13,775	14,801	19,692	16,258	18,096
分配金(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	-	△ 1.0	7.4	33.0	△ 17.4	11.3
純資産総額 (百万円)	78	78	354	1,013	967	1,161

\* 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## <ブラックロックESG世界株式ファンド(為替ヘッジなし)>

### ◇運用経過

■当期中の基準価額等の推移について(第8期:2022年9月21日～2023年9月20日)



第8期首: 21,324円

第8期末: 25,794円(既払分配金0円)

騰落率: 21.0%(分配金再投資ベース)

### ■基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の期中騰落率は+21.0%となりました。

当期、「BSF ブラックロック・システムチックESGワールド・エクイティ・ファンド(円建て)」が上昇したことが、当ファンドの上昇要因となりました。

### ■主要投資対象ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
BSF ブラックロック・システムチックESGワールド・エクイティ・ファンド(円建て)	22.1%

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

\*分配金再投資基準価額は、前期末の基準価額に合わせて指数化しています。

### ■1万口当りの費用明細

項目	第8期 (2022.9.21～2023.9.20)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	82 円	0.361 %	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は22,652円です。
(投信会社)	(2)	(0.011)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(75)	(0.330)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(4)	(0.020)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (印刷費用・監査費用等)	7 (6)	0.029 (0.027)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
(その他)	(1)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	88	0.390	

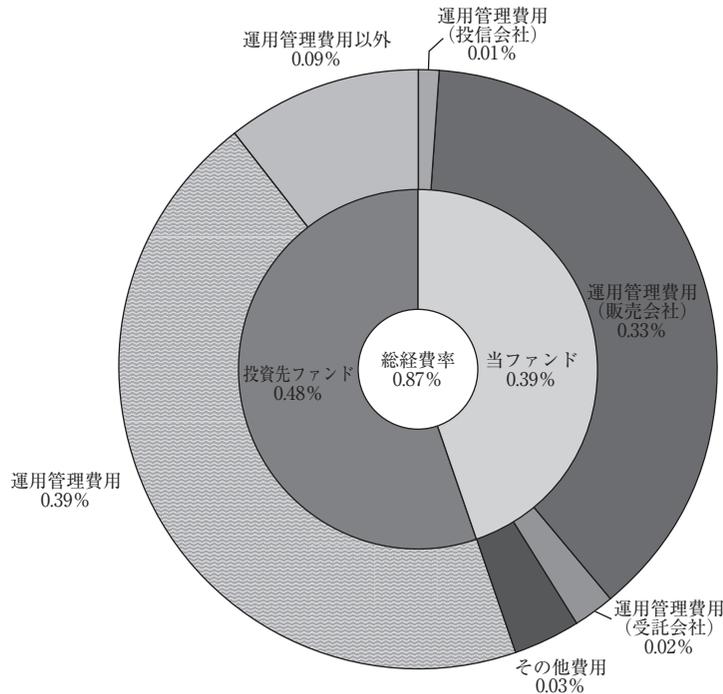
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.87%です。

総経費率(①+②+③)	0.87%
①当ファンドの費用の比率	0.39%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

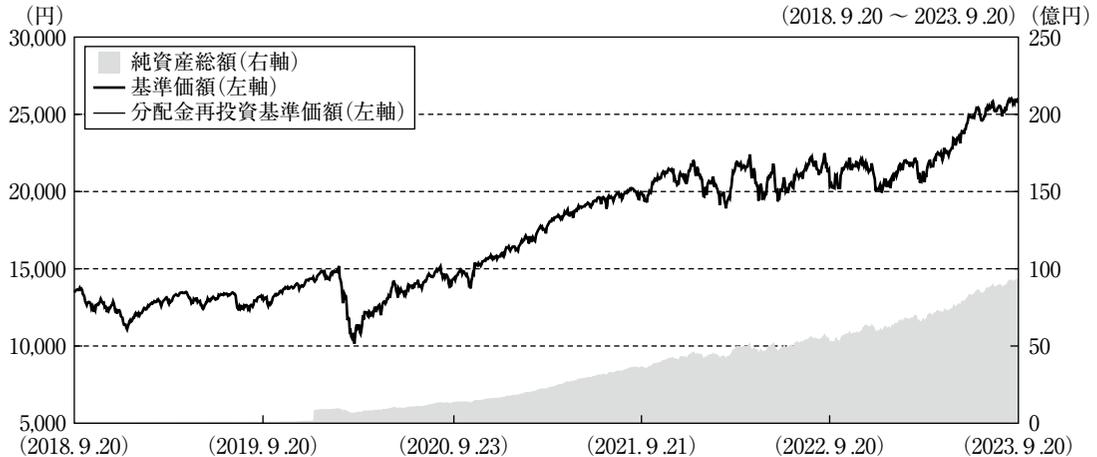
(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、2018年9月20日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年9月20日 期初	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日
基準価額(分配前) (円)	13,479	13,255	13,992	19,521	21,324	25,794
分配金(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	-	△ 1.7	5.6	39.5	9.2	21.0
純資産総額 (百万円)	93	101	1,316	3,604	5,538	9,346

\* 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## 投資環境について

### <世界株式市場>

当期(2022年9月21日から2023年9月20日まで)、株式市場は、米国の金融政策の動向に加え、米地銀の破綻や AI 関連銘柄への買いの集中など様々な影響を受けました。米国では引き続き高水準のインフレが継続し、それに対する金融政策当局の対応が注目点となりました。そのため米連邦準備制度理事会(FRB)が市場想定以上にタカ派姿勢を示すと市場は急速にリスク回避的になる場面がありました。また、2022年末に向けては金融引き締めの結果としての経済減速懸念が意識され市場参加者のリスクテイク姿勢の重石となりました。2023年に入ると中国経済再開期待に加え、米国のインフレ鈍化やパウエルFRB議長のディスインフレ発言によるFRBのタカ派姿勢緩和期待などが市場参加者のセンチメントを下支えしました。3月にはシリコンバレーバンクの破綻により金融システム不安から市場参加者は急速にリスク回避的となりました。また、米国金融政策のインフレ抑制重視が継続する中でISM等の景況感が悪化すると、金融引き締めによる景気後退懸念が強まるなどしました。このように経済の先行きについての不透明感が高まる中で、明るいニュースとしてAI関連への期待が高まると、半導体等AI関連銘柄への買いが集中しました。一方で、それ以外の銘柄群には業績期待が高かったとしても買いが入りにくいなど二極化した市場環境となる場面もありました。

### <米国債券市場>

米国の短期債利回りは、FRBによる金融引き締めが行われたことで、上昇基調となりました。

## ポートフォリオについて

### <ブラックロック ESG 世界株式ファンド(限定為替ヘッジあり)>

期を通じて、主要投資対象ファンドである「BSF ブラックロック・システムチック ESG ワールド・エクイティ・ファンド(円建て円ヘッジ)」を高位に、「ICS ブラックロック・ICS・USトレジャリー・ファンド」を低位に組み入れた運用を行いました。

また、主要投資対象ファンドにおいて、当該ファン

ドの純資産額を米ドル換算した額に対して米ドル売り・買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

### <ブラックロック ESG 世界株式ファンド(為替ヘッジなし)>

期を通じて、主要投資対象ファンドである「BSF ブラックロック・システムチック ESG ワールド・エクイティ・ファンド(円建て)」を高位に、「ICS ブラックロック・ICS・USトレジャリー・ファンド」を低位に組み入れた運用を行いました。

### <BSF ブラックロック・システムチック ESG ワールド・エクイティ・ファンド>

当期、Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)の3つの切り口による分析をもとに、優れた経営をしている企業に着眼しつつ、投資収益を追求する運用を行いました。

これら優れた経営をしている企業に着目した上記の指標は有効性を発揮しました。環境や人材に着目する投資アイデア中心に有効性を発揮し、環境面では温室効果ガス排出量に着目する投資アイデアが、人材面では従業員満足度に着目する投資アイデアなどが有効性を発揮しました。

上記以外の指標では、ファンダメンタルズ指標、センチメント指標が有効性を発揮しました。

### <ICS ブラックロック・ICS・USトレジャリー・ファンド>

主に、米国短中期国債、米国政府によって発行されるその他債務権および現先取引に投資することで、流動性と元本の安定性を確保しつつ、安定的なインカム水準を追求した運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは、特定のベンチマークを設定しそれを上回る運用を目指したものではありません。したがって当ファンドはベンチマークを設定していません。また、参考指数についても設定していません。

## 分配金について

＜ブラックロック ESG 世界株式ファンド(限定為替ヘッジあり)＞

今期の収益分配につきましては、見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期 2022年9月21日 ～2023年9月20日
当期分配金(税込み)	-円
対基準価額比率	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	9,020

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

＜ブラックロック ESG 世界株式ファンド(為替ヘッジなし)＞

今期の収益分配につきましては、見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期 2022年9月21日 ～2023年9月20日
当期分配金(税込み)	-円
対基準価額比率	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	15,793

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針について

＜ブラックロック ESG 世界株式ファンド(限定為替ヘッジあり)＞

引き続き、当ファンドでは主要投資対象ファンドである「B S F ブラックロック・システマチック ESG ワールド・エクイティ・ファンド(円建て円ヘッジ)」を高位に組入れた運用を行う方針です。また、主要投資対象ファンドにおいて、当該ファンドの純資産額を米ドル換算した額に対して米ドル売り・円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

＜ブラックロック ESG 世界株式ファンド(為替ヘッジなし)＞

引き続き、当ファンドでは主要投資対象ファンドである「B S F ブラックロック・システマチック ESG ワールド・エクイティ・ファンド(円建て)」を高位に組入れた運用を行う方針です。

### <BSF ブラックロック・システムチックESG ワールド・エクイティ・ファンド>

当ファンドでは、Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)の3つの切り口による分析をもとに、優れた経営をしている企業に着眼しつつ、投資収益を追求する運用を行う方針です。疾病研究に取り組んでいる企業、従業員満足度の底上げを通じた企業統治の向上を図っている企業、そして環境技術の開発を通じて環境保全への取り組みを行っている企業など社会にプラスの影響を与えることを目指す企業への投資比率を比較的高位に保つ方針です。一方、訴訟や社会的・道徳的等問題を抱えているような企業への投資比率を比較的低位に保つ方針です。

### <ICS ブラックロック・ICS・USTレジャー リー・ファンド>

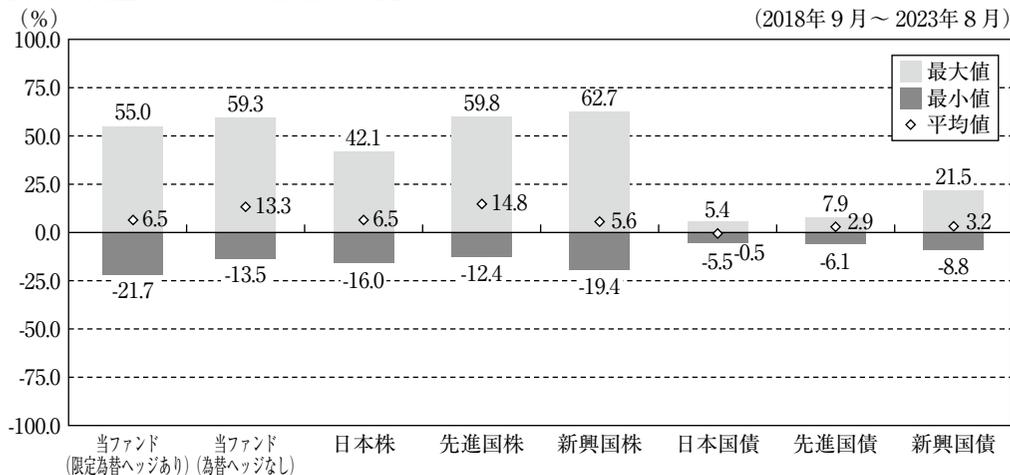
主に、米国短中期国債、米国政府によって発行されるその他債務権および現先取引に投資することで、流動性と元本の安定性を確保しつつ、安定的なインカム水準を追求した運用を行う方針です。

## ◇当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(設定日:2015年9月30日)
運用方針	各企業の ESG に着目しながら、先進国の企業または先進国に主要な業務基盤がある企業の株式ならびに株式関連商品(デリバティブ含む)等に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>「BSF ブラックロック・システムチック ESG ワールド・エクイティ・ファンド*1」(主要投資対象ファンド)および「ICS ブラックロック・ICS・USTレジャリー・ファンド*2」を投資対象ファンドとします。</p> <p>*1 正式名称は、「ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・システムチック ESG ワールド・エクイティ・ファンド クラス I 投資証券(円建て円ヘッジまたは円建て)」です。</p> <p>*2 正式名称は、「インスティテューショナル・キャッシュ・シリーズ p1 c ブラックロック・ICS・USTレジャリー・ファンド エージェンシークラス投資証券(米ドル建て)」です。</p>
運用方法	<p>①主として、各企業の ESG に着目しながら、先進国の企業または先進国に主要な業務基盤がある企業の株式ならびに株式関連商品(デリバティブ含む)等に投資する投資信託証券(以下「主要投資対象ファンド」といいます。)に投資を行います。副次的な投資対象として、短期債券等に投資する投資信託証券にも投資を行います。</p> <p>②投資対象とする投資信託証券は、ブラックロック・グループの運用会社が運用する別に定める投資信託証券とします。別に定める投資信託証券は、委託会社の判断により、変更することがあります。</p> <p>③各投資信託証券への投資割合は、原則として市況動向および各投資信託証券の収益性等を勘案して委託会社が決定します。通常、主要投資対象ファンドへの投資割合を高位に保ちます。</p> <p>④「限定為替ヘッジあり」については、主要投資対象ファンドにおいて、原則として米ドル・日本円について為替ヘッジが行われ、米ドル・日本円間での為替リスクの低減が図られます。「為替ヘッジなし」については、実質的な外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>
分配方針	<p>年1回の毎決算時(原則として9月20日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>■経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益(繰越欠損補填後、評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲として分配を行います。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>■留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p> <p>※基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

(参考情報)

◇代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\*上記は、2018年9月～2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

\*上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

\*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

\*各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株・・・MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

<各指数について>

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有する我が国を代表する指数です。東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値および東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)は日本を除く世界の主要先進国の株式を、また、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は新興国の株式を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数に関する知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われるブラックロック・ジャパン株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、新興国の現地通貨建ての国債を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

<ブラックロック ESG 世界株式ファンド(限定為替ヘッジあり)>

◇ファンドデータ

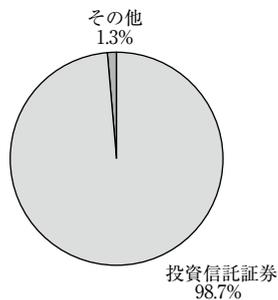
■当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド等

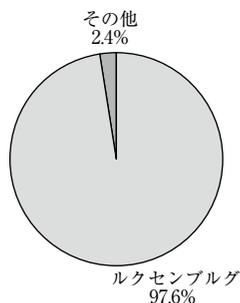
銘柄名	比率
B S F ブラックロック・システムチック ESG ワールド・エクイティ・ファンド(円建て円ヘッジ)	97.6%
I C S ブラックロック・I C S・U S トレジャリー・ファンド	1.1
その他	1.3

(注) 比率は第8期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

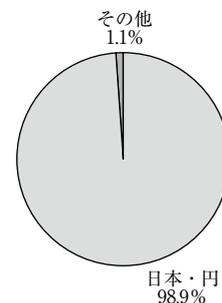
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は第8期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

項目	当期末
	2023年9月20日
純資産総額	1,161,780,678円
受益権総口数	642,000,803口
1万口当り基準価額	18,096円

\* 当期中における追加設定元本額は149,463,532円、同解約元本額は102,790,261円です。

<ブラックロック ESG 世界株式ファンド(為替ヘッジなし)>

◇ファンドデータ

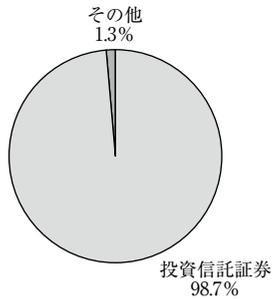
■当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド等

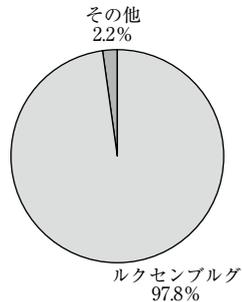
銘柄名	比率
B S F ブラックロック・システマチック ESG ワールド・エクイティ・ファンド(円建て)	97.8%
I C S ブラックロック・I C S・U S トレジャリー・ファンド	0.9
その他	1.3

(注) 比率は第8期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

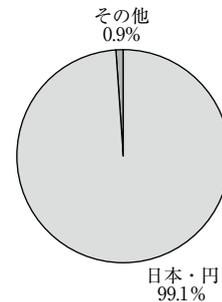
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は第8期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

項目	当期末
	2023年9月20日
純資産総額	9,346,877,809円
受益権総口数	3,623,700,290口
1万口当り基準価額	25,794円

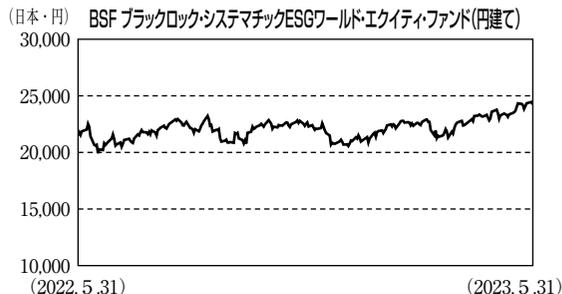
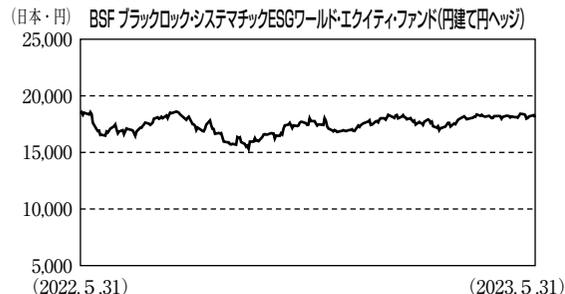
\* 当期中における追加設定元本額は1,708,176,446円、同解約元本額は681,839,136円です。

## ■組入上位ファンドの概要

### ◆BSF ブラックロック・システムチックESGワールド・エクイティ・ファンド

基準価額の推移以外の開示情報につきましては、BSF ブラックロック・システムチックESGワールド・エクイティ・ファンドクラスI投資証券(円建て円ヘッジまたは円建て)を含む全てのクラスを合算したものです。

#### ○基準価額の推移



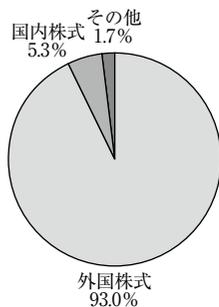
#### ○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
APPLE INC	米・ドル	5.7%
MICROSOFT CORPORATION	米・ドル	5.0
ALPHABET INC	米・ドル	3.1
NVIDIA CORPORATION	米・ドル	2.4
AMAZON.COM INC	米・ドル	1.9
META PLATFORMS INC	米・ドル	1.2
MASTERCARD INC	米・ドル	1.1
UNITEDHEALTH GROUP INC	米・ドル	1.1
PEPSICO INC	米・ドル	1.1
ADOBE INC	米・ドル	1.1
組入銘柄数	351銘柄	

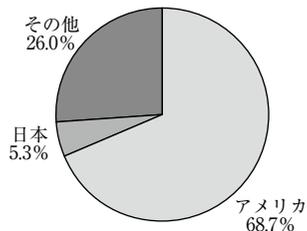
#### ○1万口当りの費用明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

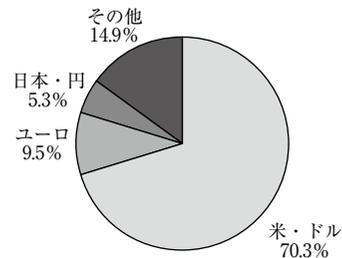
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。上記ファンドの管理会社が作成しているデータに基づく運用報告書(全体版)の参考情報と相違する場合があります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## ◇ESGを投資対象選定の主要な要素としている投資信託における定期開示事項

※以下は、主要投資対象ファンドであるBSF ブラックロック・システムチックESGワールド・エクイティ・ファンドにおける情報です。

### ■純資産額のうち、ESGを主要な要素として選定した投資対象への投資額(時価ベース)の比率について、目標や目安を設定している場合の、実際の投資比率

98.3%(当ファンドの直近決算日時点における、純資産総額に対する比率です。当ファンドで組入れた全株式の総額に対する、ESGを主要な要素として選定した株式の比率は、100%です。)

### ■投資対象の選定において主要な要素となるESGのポートフォリオ全体の評価指標の達成状況について、目標や目安を設定している場合の、その達成状況

該当ありません。(当ファンドではポートフォリオ全体の評価指標の達成状況についての目標や目安は設定されておりません。)

### ■持続可能な社会の構築に向けて、環境や社会のインパクト創出を目的としているESG投信について、インパクトの達成状況

該当ありません。(当ファンドは環境や社会のインパクト創出を目的とするファンドではありません。)

### ■ESGを主要な要素とする投資戦略に関連する全社的なスチュワードシップ方針がある場合、当該方針に沿って実施した行動

ブラックロックのスチュワードシップ・チームでは、ブラックロックの全社的なスチュワードシップ方針に基づき、投資先企業に対する対話(エンゲージメント)と議決権行使を実施いたしました。詳細はこちらのウェブサイト(<https://www.blackrock.com/jp/individual/ja/strategies/sustainable-investing/information>)からご確認いただけます。当該実績は、当ファンド固有のものではなく、ブラックロックの全社的な活動実績です。また、当該実績の集計期間も当ファンドの決算期間とは一致しておりません。